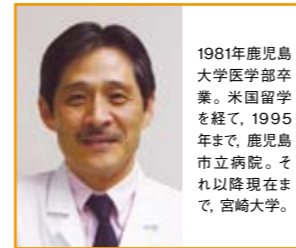


連載 声なき声を聴くために  
胎児心拍数モニタリング判読塾

宮崎大学医学部 産婦人科 教授 鮫島 浩



1981年鹿児島大学医学部卒業。米国留学を経て、1995年まで、鹿児島市立病院。それ以降現在まで、宮崎大学。

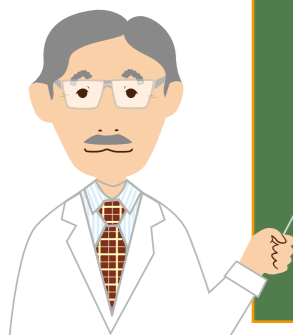
第9回

# 一過性頻脈の生理

## 「声なき声」を聴くには

今回は、先にポイントをまとめておきましょう。

- 1 一過性頻脈の出現は、胎児の成熟度に関連します。
- 2 一過性頻脈の多く（約80%）は、胎動に伴って出現します。
- 3 一過性頻脈を見る検査にNSTがあり、リアクティブであれば、その時点で健康であることを示唆します。



## 一過性頻脈が出現するメカニズム

すでに基線や基線細変動の回で述べてきたように、胎児心拍数の調節は、主に自律神経の交感神経と迷走神経との力関係で微調整され、さらに脳からの影響や心臓自体の持つリズムなどの影響を受けています。

によって胎児の心拍数調節センターが刺激されます。その刺激により、主に交感神経が優位に興奮し、交感神経節を経由して心臓の洞房結節に至り、一過性に心拍数が上昇すると考えられています。

図1に示すように、胎動や外的刺激、音響刺激など

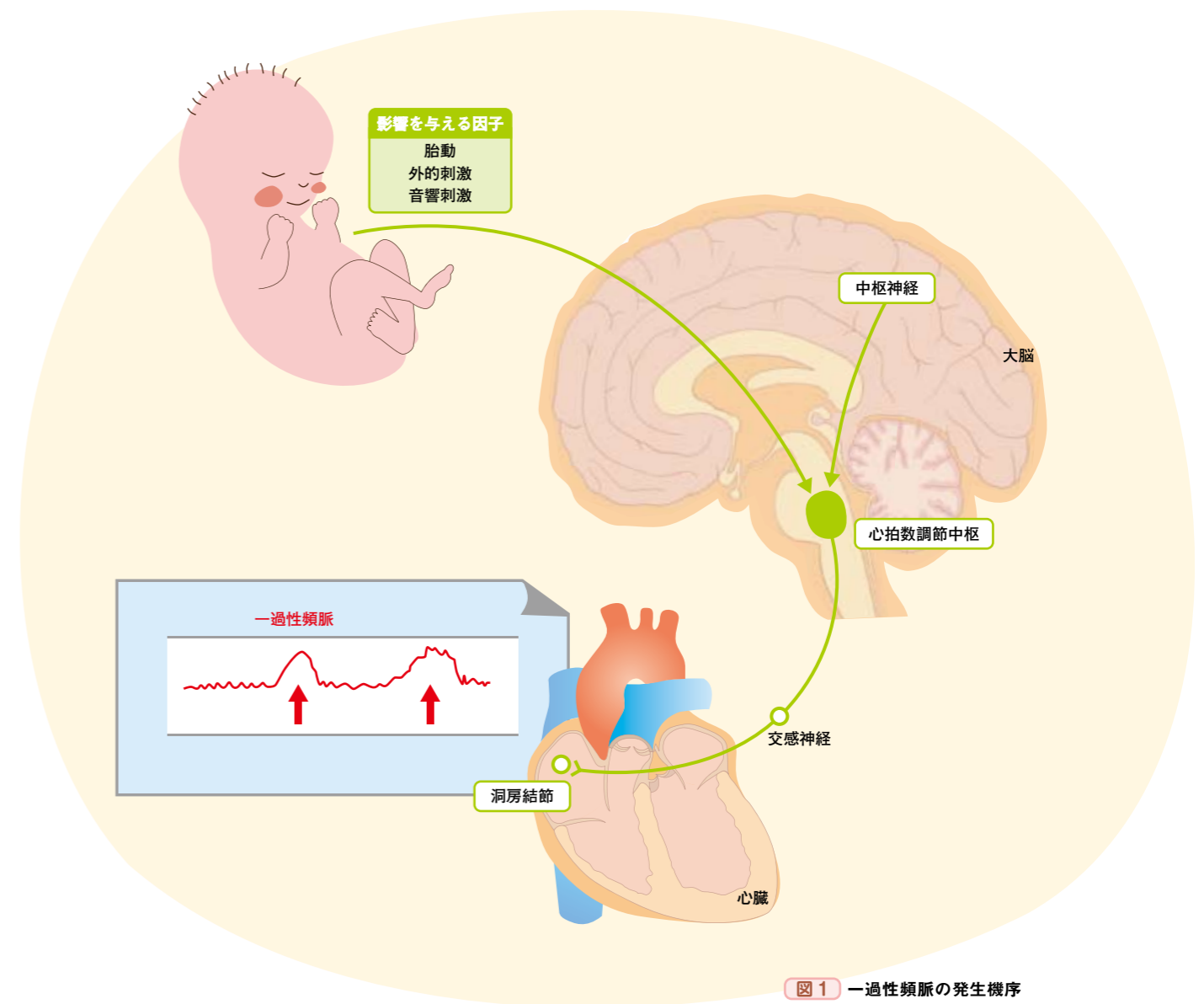


図1 一過性頻脈の発生機序